

「せんだいコミュニティサイクル社会実験」の結果をお知らせします

平成22年11月に実施した「せんだいコミュニティサイクル社会実験」について、その結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 実験の目的

仙台市では、都心部において、自転車を重要な交通手段と位置づけ、「いつでも、誰でも、安全に、快適に、楽しく」自転車が利用できる環境づくりを目指しています。

その中で、コミュニティサイクルは、「楽しく自転車が利用できる環境づくり」、「まちの活性化への貢献」、「環境に優しいまちづくりへの貢献」などが期待できるものです。

今回の社会実験は、コミュニティサイクルという新しい移動手段を、多くの市民の皆さまにご利用いただき、ご意見を伺って、導入に向けた課題を把握するために実施しました。

2 実験概要

実験期間	平成22年11月1日(月)～11月30日(火) 計30日間
実施箇所	都心部(JR仙台駅西側)
運営時間	8:00～19:00(最終返却時間19:30)
サイクルポート数	10カ所(下図参照) (うち、民間協力サイクルポート2カ所)
自転車台数	100台
登録料・利用料	無料
貸出・返却システム	専用ICカードによる認識
登録方法	常設および臨時窓口、およびインターネット
登録条件	身分証明書を所有の18歳以上(高校生を除く)
自転車の仕様	市販車(26インチ)



【サイクルポート位置図(左)と貸し出し自転車】

3. 実験結果

(1) 利用実態について

- ・登録、利用ともに無料で行った今回の社会実験では、多くの方にご利用いただき、広くコミュニティサイクルを周知することができました。(別紙P 1「表-1」参照)
- ・一方、30日間の実験期間のうち、利用者の半数以上が1～2日の利用にとどまっており、継続的に利用した方は限られていました。(別紙P 1「図-2」参照)
- ・利用の多いサイクルポートと、少ないサイクルポートの差が顕著だったほか、時間帯により、特定のサイクルポートへ利用の集中が見られました。(別紙P 3「表-2」、P 4「図-9」参照)

(2) アンケート調査について

- ・多くの利用者がコミュニティサイクルに満足しており、また、利用者の約8割が「有料化した場合でも利用する」と回答するなど、今後の本格導入への期待が大きかったことが分かりました。(別紙P 4「図-10」、P 7「図-19」参照)
- ・自転車走行のルール・マナーについては、コミュニティサイクル利用により、6割以上の方が「自転車のルールやマナーを意識した」と回答しており、多くの方が安全な走行を心がけた結果となりました。(別紙P 5「図-12」参照)
- ・従来の交通手段としては徒歩からの転換が最も多く、鉄道やバスなどの公共交通機関、自動車からの転換も見られました。(別紙P 5「図-13」参照)

(3) まとめ

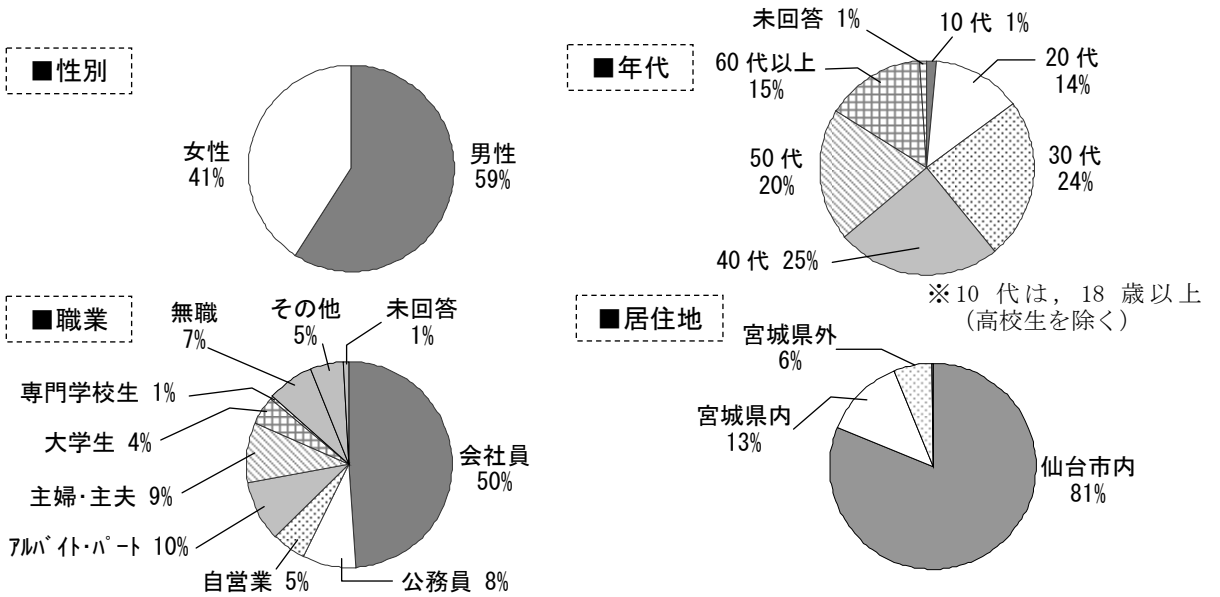
- ・多くの方に利用していただいた反面、特定のサイクルポートへの集中の対応、有料化にあたっての料金設定など、今後の実施に向けてのさまざまな課題が把握できました。
- ・今回の取り組みの中では、複数の企業・団体からサイクルポート用地の協力や、多くの企業・飲食店からPRや利用者増加に向けた協力を得るなど、地域に根ざした取り組みに向けて一つの成果が得られました。
- ・今回の実験結果を踏まえ、下記の課題について引き続き検討してまいります。
 - ①誰もが利用しやすいシステム構築に向けた、サイクルポートの場所や数、自転車の仕様など
 - ②公平性の確保および運営費として、適切な利用料金の設定など
 - ③まちなかの活性化に向け、実施主体を含めた地元企業・商店街などとの連携方策など

「せんだいコミュニティサイクル社会実験」の結果について（補足資料）

1. 登録者について

- 1) 登録者数 5,264名（うち、実際に利用した人数 3,681人）
- 2) 登録者の属性

【図-1 登録者の属性】



2. 利用状況について

1) 利用回数

【表-1 利用回数】

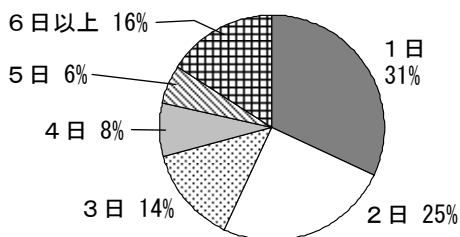
延べ利用回数 (30日間の合計)	17,884	回
平日 (20日間)	13,115	
休日 (10日間)	4,769	
利用回数 (30日間の平均)	596.1	回/日
平日 (20日間)	655.8	
休日 (10日間)	476.9	
利用時間 (30日間の平均)	29	分/回
平日 (20日間)	27	
休日 (10日間)	31	
回転率 (30日間の平均)	5.96	回/台・日
平日 (20日間)	6.56	
休日 (10日間)	4.77	

・当初目標とした回転率（2回転）を大きく上回り、1日1台あたり約6回転に達する利用となりました。

※回転率：自転車1台あたりの1日の利用回数＝利用回数÷自転車台数（100台）

2) 利用者1人あたりの利用日数

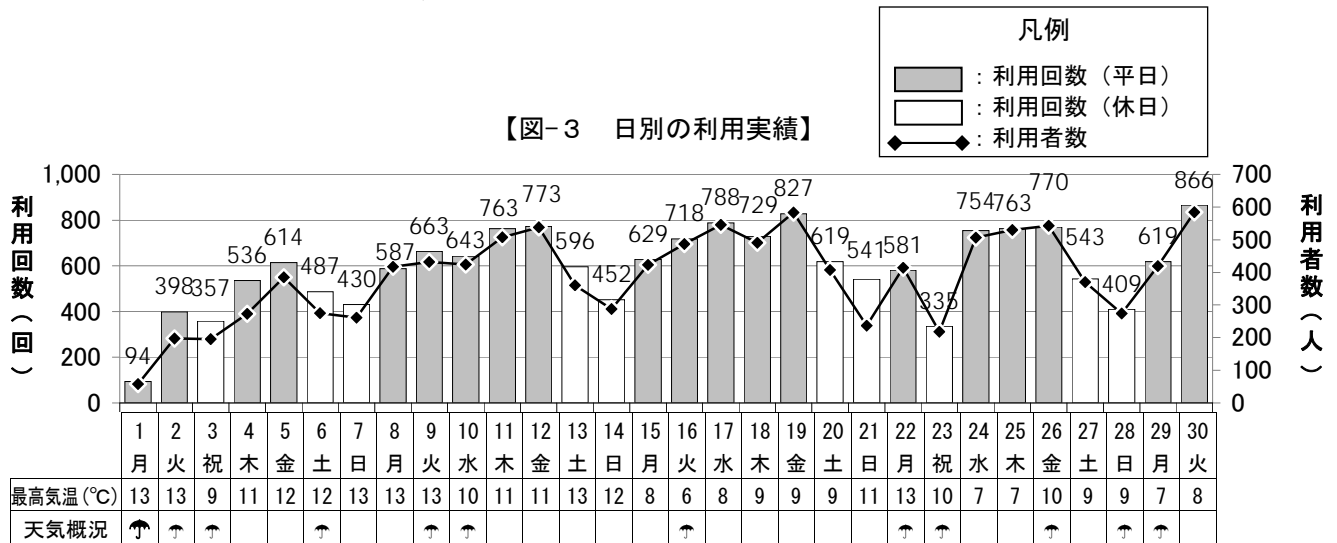
【図-2 利用者一人あたりの利用日数】



・1～2日の利用に止まっている利用者が半数以上となっております。

3) 日別の利用実績

・平日の利用については、休日より多くなっています。

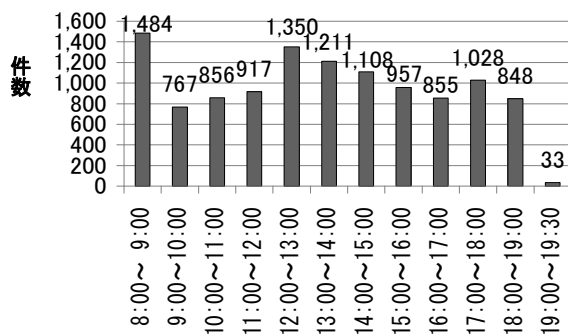


※1 : 数値は利用回数実績値。 ※2 : ☂ : 雨 ☂ : 時々雨、一時雨

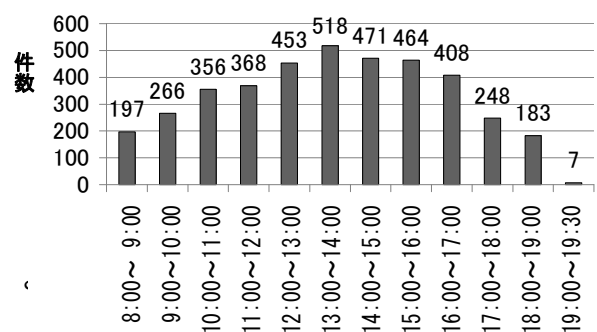
4) 時間帯別の利用状況

- ・平日の利用は、8:00~9:00 と 12:00~13:00、および 17:00~18:00 にピークが見られます。
- ・平日の朝と夕方のピーク時は通勤利用が多く、昼間のピーク時は業務・私事利用が多い状況です。
- ・休日は、昼過ぎのピークを頂点に朝夕の利用が少なく、ほとんどが私事利用の状況です。

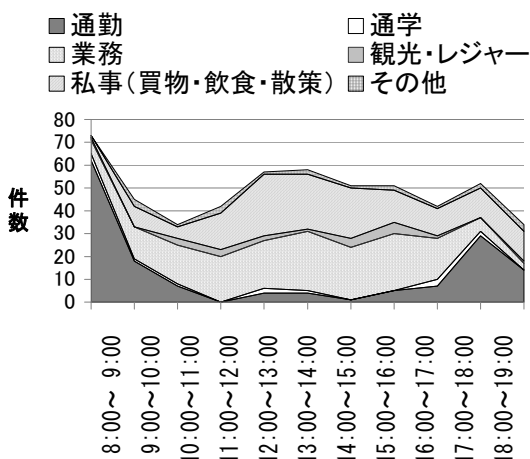
【図-4 時間帯別の貸出件数 (平日)】



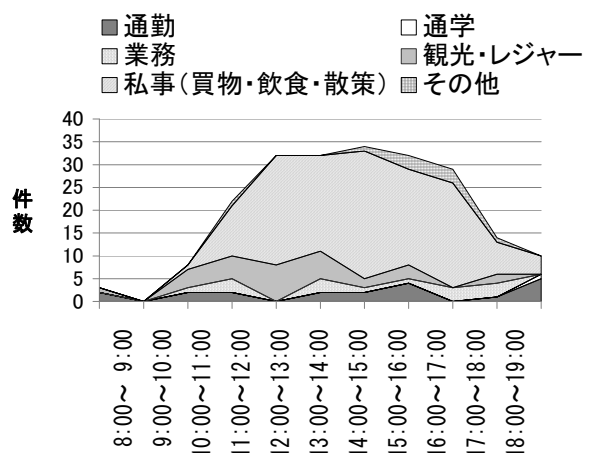
【図-5 時間帯別の貸出件数 (休日)】



【図-6 時間帯別の利用目的 (平日)】



【図-7 時間帯別の利用目的 (休日)】



5) サイクルポートの利用実態

- ・ポート間の利用状況は表-2のとおりです。
- ・下表では、「①勾当台公園市民広場と⑤東京建物仙台ビル」間の利用が、1位(1,132回)と2位(1,067回)となっています。
- ・仙台駅から一番町アーケード街までの、主に東側での利用が多く、西公園に至る西側での利用は少ない状況でした。
- ・利用が集中したサイクルポートでは、一時的に自転車が不足する事態が見られました。

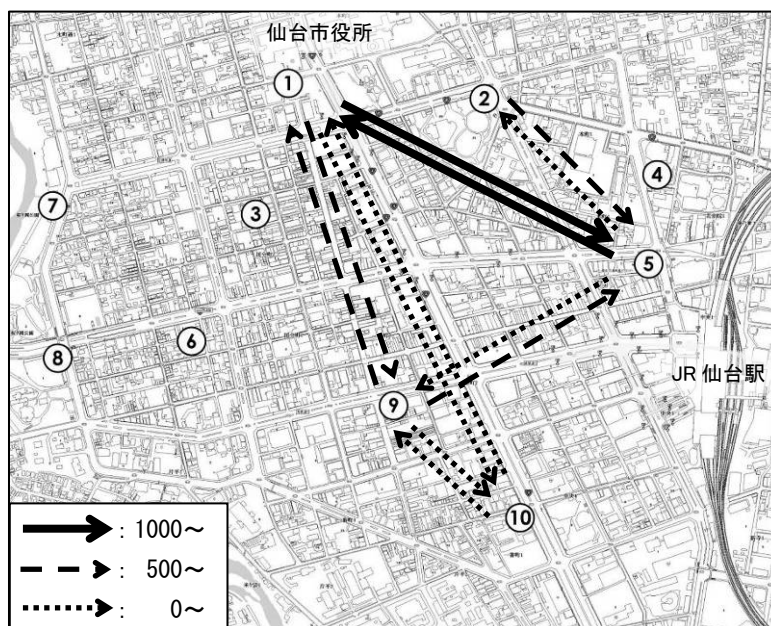
【表-2 ポート間の利用状況】

	返却ポート No										貸出数計 【()はランキング】
	① 勾当台公園 市民広場	② 錦町公園	③ 元鍛冶丁 公園	④ 花京院緑地	⑤ 東京建物 仙台ビル	⑥ 仙台市戦災 復興記念館	⑦ 西公園 (北側)	⑧ 西公園 (南側)	⑨ サンモール 一番町	⑩ 仙台トラスト シティ	
①勾当台公園市民広場	<u>521</u>	220	105	179	<u>1,132</u>	214	184	37	<u>550</u>	<u>352</u>	3,494(2)
②錦町公園	224	<u>209</u>	90	57	<u>542</u>	56	64	14	231	158	1,645(5)
③元鍛冶丁公園	75	58	<u>89</u>	29	225	40	31	11	115	90	763(8)
④花京院緑地	257	92	54	<u>191</u>	197	41	45	29	135	150	1,191(6)
⑤東京建物仙台ビル	<u>1,067</u>	<u>483</u>	236	170	<u>560</u>	127	123	103	<u>377</u>	261	3,507(1)
⑥仙台市戦災復興記念館	163	40	43	26	214	<u>278</u>	29	13	184	84	1,074(7)
⑦西公園(北側)	153	48	35	45	144	20	<u>93</u>	20	107	44	709(9)
⑧西公園(南側)	55	22	19	26	132	14	31	<u>38</u>	117	101	555(10)
⑨サンモール一番町	<u>663</u>	184	141	122	<u>522</u>	167	122	164	<u>346</u>	<u>462</u>	2,893(3)
⑩仙台トラストシティ	<u>405</u>	113	126	77	324	68	63	52	<u>439</u>	<u>386</u>	2,053(4)
返却数計 【()はランキング】	3,583 (2)	1,469 (5)	938 (7)	922 (8)	3,992 (1)	1,025 (6)	785 (9)	481 (10)	2,601 (3)	2,088 (4)	17,884

※表中下線部は、実績の多い上位15件

※不完全なICカードの読み取り操作等により、貸出と返却の照合ができなかったものも推計値として含めています。

【図-8 ポート間の主な相関図】

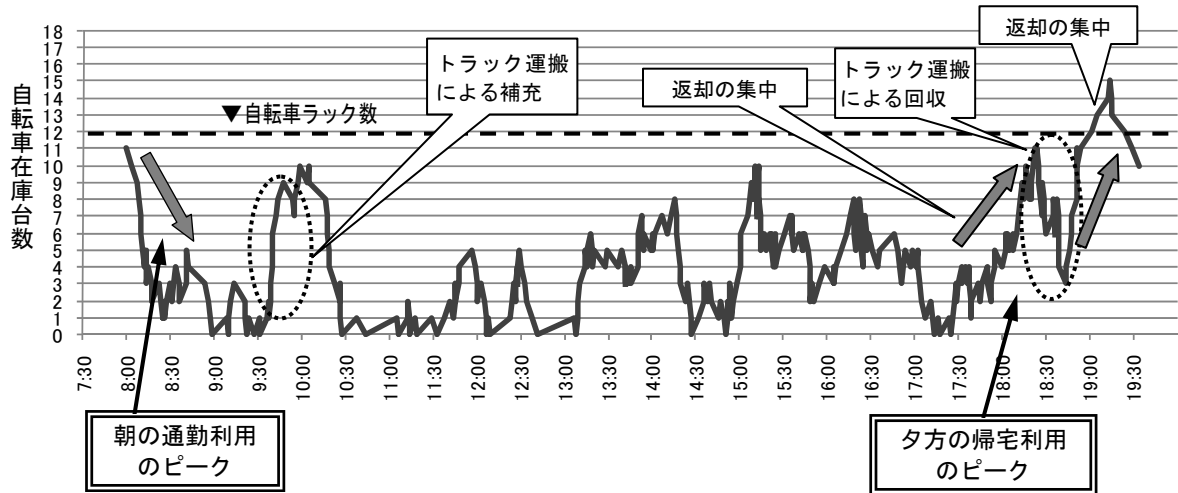


※実績が多い上位15件(ポート間移動のみ)を図示。
※途中の立ち寄りなどは考慮していません。

6) 利用の多いサイクルポートの時間帯別利用実態

- ・ 仙台駅に最も近い⑤東京建物仙台ビルに設置したポートでは、朝の通勤利用による台数不足、夕方の帰宅利用による返却の集中により、ラック数を超える在庫が見られました。

【図-9 ⑤東京建物仙台ビルにおける自転車残台数の時間経過（11/26（金））】



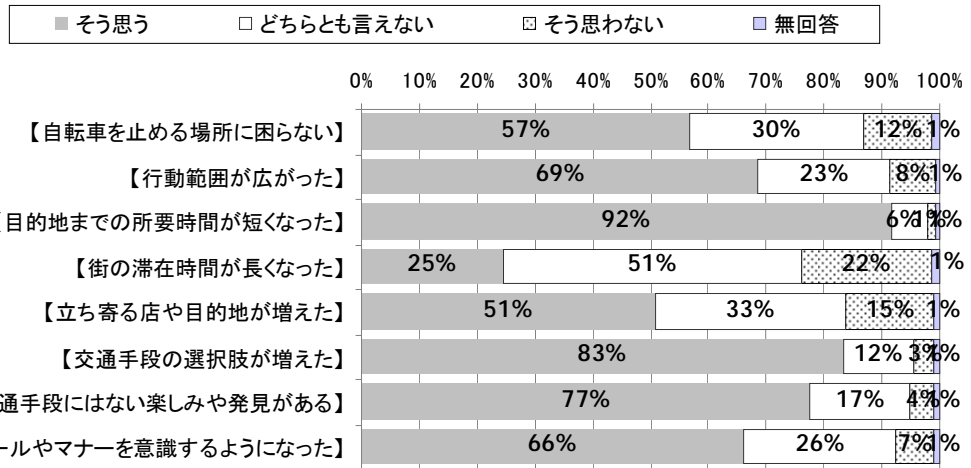
3. アンケート調査結果

コミュニティサイクルを1回以上利用した方（3,681人）を対象に平成22年12月8日～17日まで、郵送により実施したアンケートの結果（回収率73%）については、下記のとおりです。

1) 利用者の意識	
<p>ア. 社会実験に対する評価(図-10)</p> <p>■満足 □やや満足 ■どちらでもない ■やや不満 ■不満 ■無回答</p> <p>< 9割の方が高い評価 ></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「満足」および「やや満足」とした方を合わせて90%と、高い評価を得ました。 ・ 「やや不満」、「不満」と回答した方からは、「自転車の仕様や台数」、「ポートの数や位置」に関する改善のご指摘、あるいは走行空間や駐輪場の整備を優先して欲しいというご意見、利用者のマナーに関するご意見などをいただきました。
<p>イ. 主な利用目的(図-11)</p> <p>■通勤 □通学 ■業務 ■観光・レジャー ■私事 ■その他 ■無回答</p> <p>< 約6割の方が私用で利用 ></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「私事（買物、飲食、散策など）」目的で主に利用した人が57%と最も多く、「観光・レジャー」目的で利用した人（4%）を含めると、61%の方が私用での利用でした。

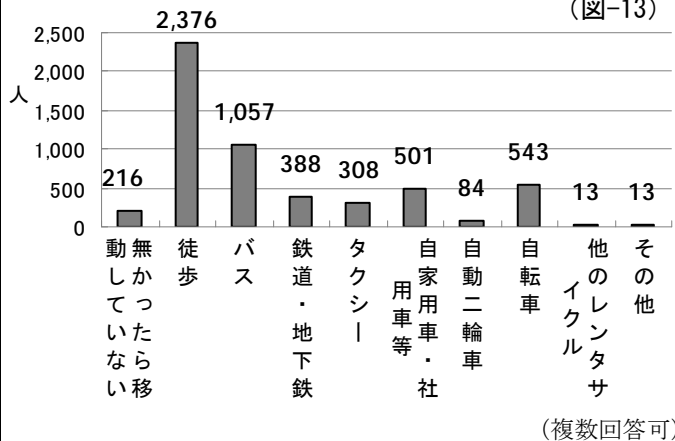
ウ. コミュニティサイクルの良い点(図-12)

・コミュニティサイクルを利用して「街の滞在時間が長くなった」と感じた方は25%と少ないものの、その他の項目については、半数以上の方が良い点と答えています。



2) 転換した交通機関

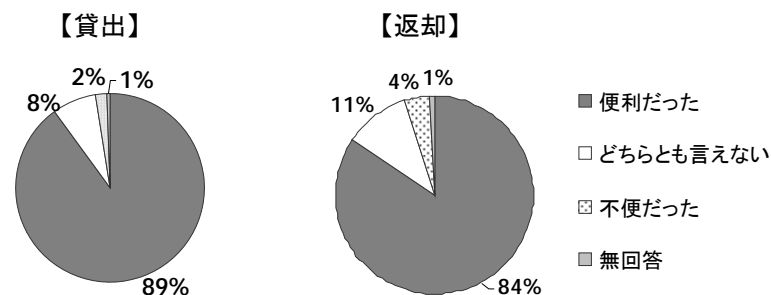
ア. コミュニティサイクルが無かった場合の交通手段 (図-13)



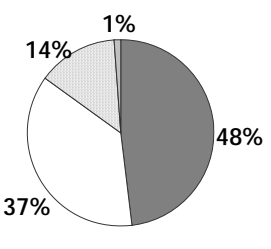
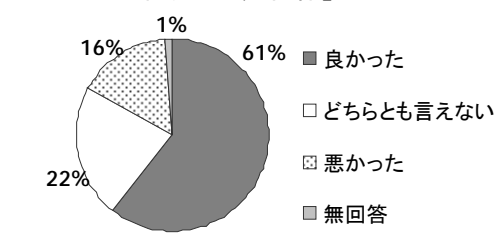
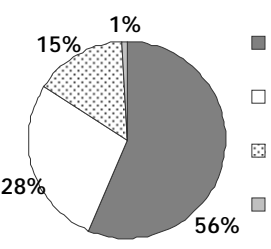
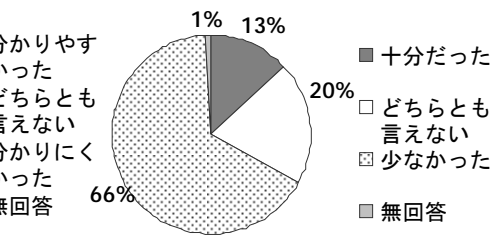
・徒歩からの転換が最も多くなりました。
 ・バスなどの公共交通機関や、自家用車・社用車等からの転換も見られました。

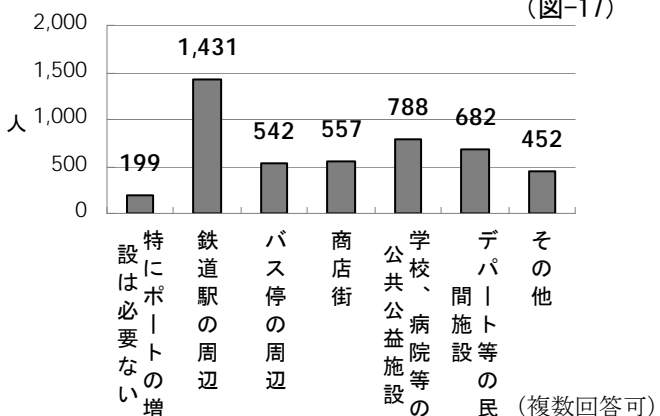
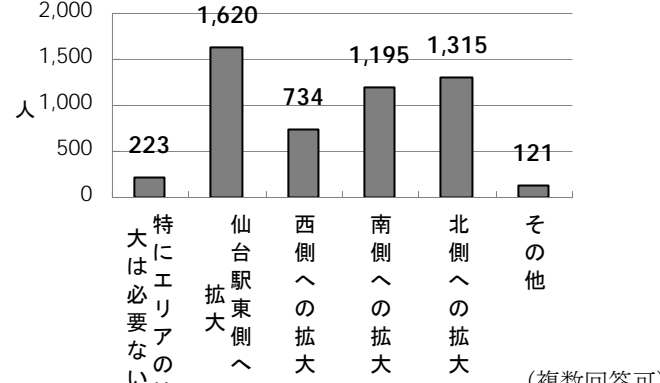
3) 利用システムについて

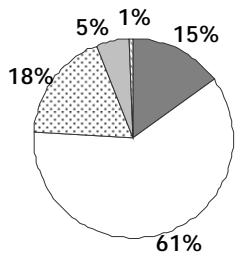
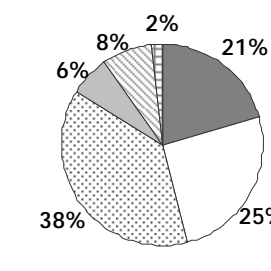
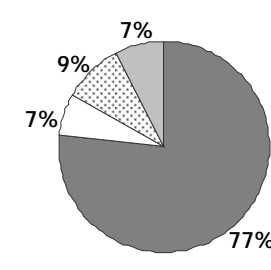
ア. 貸出・返却のしやすさ (図-14)



・今回のシステムについては、貸出・返却のしやすさ共に、概ね好評でした。

<p>イ. 自転車について (図-15)</p> <p>【デザイン】</p>  <p>【乗り降りしやすさ, 乗り心地, 仕様】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車のデザインについて、「良かった」と回答した方は48%でした。 ・また自転車の乗り心地等について、「良かった」と回答した方は61%でした。
<p>ウ. サイクルポートについて (図-16)</p> <p>【場所の分かりやすさ】</p>  <p>【数】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルポートの場所について、「分かりやすかった」と回答した方は56%でした。 ・また、その数については、「少なかった」と回答した方は66%でした。

<p>4) 今後の実施に向けた意向について</p>	
<p>ア. サイクルポートを増設してほしい場所 (図-17)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「鉄道駅の周辺」への設置要望が最も多く、次いで、公共施設・民間施設を挙げた方が多い状況でした。
<p>イ. 拡大して欲しいエリア (図-18)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JR仙台駅東側」への拡大要望が最も多く、次いで、「北側(北仙台方面)」、「南側(五橋方面)」への拡大要望が多い状況でした。

<p>ウ. 有料化の場合の利用意向 (図-19)</p>  <p>■ 利用する □ 料金によっては利用する ▨ 利用しない ■ わからない ▨ 無回答</p> <p>約 8 割の方が有料でも利用すると回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、コミュニティサイクルを有料で実施した際、「利用する」又は「料金によっては利用する」と回答した方は 76% でした。
<p>エ. 初期登録に支払っても良い料金 (図-20)</p>  <p>■ 100円まで □ 300円まで ▨ 500円まで ■ 700円まで ▨ 登録料がかかるなら利用しない ▨ 無回答</p> <p>約 8 割の方が 100 円～500 円までの意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期登録に要する費用として、「500 円まで」なら支払っても良いと回答した方は 38% と、最も多い状況でした。 ・ 100～500 円と回答した方は 84% でした。 <p>※初期登録料金とは、登録手数料および専用カード発行などに要する料金であり、「オ」の利用料金とは別に必要となるものです。</p>
<p>オ. 利用料金 (月額基本料金) として支払っても良い料金 (図-21)</p>  <p>■ 500円/月 □ 700円/月 ▨ 1,000円/月 ■ 無回答</p> <p>約 8 割の方が月額 500 円程度の意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月額基本料金として、「500 円」までなら支払っても良いと回答した方は 77% でした。 <p>※この場合の月額基本料金とは、毎月の基本料金を支払えば、30 分以内の利用は何回でも無料とし、30 分を超えた場合に追加料金を徴収するものです。</p> <p>※「エ」の初期登録料金とは別に、毎月必要となるものです。</p>